第２期・第３期総合戦略施策体系比較

参考資料１

１　廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の背景

国の「地方創生1.0」では、「人口減少・地域経済縮小の克服」という考え方を主眼とし、本市第1期・第2期総合戦略においても「人口減少を克服するため、産業・移住・子育て・定住を重点的に進める戦略」としていたが、

「地方創生2.0」では、人口・生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じ、地方を元気にする、という考え方を主眼としている。

また、はつかいち未来ビジョン２０３５では、「安心」に包まれ、「ワクワク」が広がる、「未来への挑戦」を楽しむまち、つなぎ つながり ともに歩む、という将来像を掲げている。

第3期廿日市市総合戦略では、「本市の将来像の実現を目指すことと」と「国の地方創生施策と連携すること」との両立を図るため、未来ビジョン２０３５と同じ将来像にするとともに、地方創生2.0基本構想の５本の柱を、次のとおり反映している。

【柱１】安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生・・・・・・・・・・・・・・・・・基本目標１

【柱２】稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生・・・・・・・・・・・・・基本目標２

【柱３】人や企業の地方分散（関係人口を活かした都市と地方の支え合い）　・・・・・・・基本目標３

【柱４】新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用・・・・・・・・・・横断的視点

【柱５】広域リージョン（自治体の区域を超え経済の観点でも官民連携のプロジェクト）・・　〃

２　第２期・第３期の施策体系比較

第３期総合戦略

◆基本目標１　いつまでも安心で、ワクワクしながら暮らせる生活環境をつくる

ＫＧＩ①　自分の将来について明るい希望を持っている市民の割合

ＫＧＩ②　現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策1-1】こどもが主役のまちづくりの推進	〔1〕こども・子育て支援	「自分のこども （未就学児）が、普段の生活や保育園等で、楽しく過ごしている」と思う市民の割合
		安心できる場所が３つ以上あるこども（小・中学生）の割合
		「子育てしやすいまちである」と感じている18 歳以下のこどもを持つ市民の割合
		子育てと仕事を両立できている18 歳以下のこどもを持つ市民の割合
	〔2〕学校教育の充実	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合
		地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合
		学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合
【施策1-2】日常に不可欠な生活基盤の確保	〔1〕必要な支援にアクセスできるとともに、地域のつながりと相談支援を一体的に進める仕組みの構築	困ったときに相談できる相談支援機関を知っている市民の割合
	〔2〕障がい者（児）福祉の充実	地域生活支援システム緊急時受入等事業の登録者数
		日常生活において差別や偏見、疎外感を感じたことがある障がいのある人の割合
	〔3〕高齢者福祉・介護サービスの充実	自宅での生活を安心して継続することができる地域だと思う高齢者の割合
		65 歳以上の市民の要支援・要介護認定率
		認知症に関する相談窓口を知っている高齢者の割合
	〔4〕健康づくりの推進	市民が健康のために取り組んでいる生活習慣の項目数
		がん検診を受けている市民の割合
		かかりつけ医がいる市民の割合
	〔5〕人権・平和意識の醸成と相談体制・支援の充実	自分や周りの人の人権を尊重しながら生活している市民の割合
	〔6〕多文化共生の推進	生活する中で外国人住民とコミュニケーションできていると思う市民の割合
		多文化共生の必要性を感じる市民の割合
【施策1-3】地域資源を活かした地域主体のまちづくりの推進	〔1〕幅広い世代のまちづくり活動への参画促進	地域主体の活動に参画している市民の割合
	〔2〕多様な主体の協働推進	多様な主体が連携して、地域課題の解決に向けた取組が行われていると思う市民の割合
	〔3〕生涯学習の推進	学びたいことを学べる機会がある市民の割合
		学んだことを地域や社会に活かした市民の割合
	〔4〕スポーツに親しむことができる環境づくり	週１回以上スポーツや運動を行っている市民の割合
	〔5〕スポーツの振興と人材の育成	運動・スポーツを支える活動を行っている市民の割合
	〔6〕文化芸術の振興・活用	地域の文化的な環境に満足した市民の割合
	〔7〕歴史や伝統文化の継承	新たに指定・登録された文化財の数
		修理が行われた伝統的建造物の割合
		宮島町伝統的建造物群保存地区を認知している市民の割合
【施策1-4】安全・快適に住むことができる環境の整備	〔1〕拠点性を高め愛着を感じるまちづくりの推進	各拠点で必要な誘導施設の充足率
		居住地域における景観に愛着を感じている市民の割合
	〔2〕地域公共交通ネットワークの構築	地域公共交通で円滑に目的地まで移動できている市民の割合
		市が財政支出している地域公共交通の年間利用者数
		地域団体等が主体となって運行する取組数
	〔3〕公園の整備・適正管理、活用の推進	市内の公園が利用しやすいと思う市民の割合
	〔4〕道路ネットワークの構築	現在事業中の畑口寺田線ほか１路線の都市計画道路の整備率
		道路に関する損害賠償件数(年間)
	〔5〕暮らしの安全の確保	交通事故死者数（年間）
		日頃利用している歩道を安心して歩行・通行できていると思う市民の割合
		市内の犯罪認知件数（年間）
		消費者被害・トラブルに遭わないよう日常的に意識・行動している市民の割合
	〔6〕脱炭素社会に向けた取組	市域における民生部門の二酸化炭素排出量
【施策1-5】災害に強くしなやかなまちの構築	〔1〕防災・減災対策の充実	自分が住んでいる場所の災害リスクを確認したことがある市民の割合
		家庭などで備蓄している市民の割合
		防災訓練などを実施している自主防災組織等の団体数
		地震・風水害などの対策がされていると思う市民の割合
		浸水常襲地区の段階的対策が完了した箇所数
	〔2〕消防・救急体制の充実	住宅火災及び事業所での火災による死者数
		市民等の目の前で倒れた心臓疾患による心肺停止傷病者が１か月後に生存している割合
		災害活動中の公務災害件数及び現場活動における重大な人為的ミス件数

2期KGIの「出生率」や「0-14歳の社会動態」から、「安心して住み続ける」ことにシフト

幅広い「生活基盤」政策として構成。
暮らしの考え方が拡充された。

第２期総合戦略

◆基本目標３　子育て世代に選ばれ続ける「そこ！」が大事 子どもたち、みんな“はつかいちの子” ～みんなで子育て～

ＫＧＩ① 合計特殊出生率

ＫＧＩ② ０～１４歳の社会動態

ＫＧＩ③ 将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策1】子育てが楽しくなるまちづくり	■出産・子育て　～ライフステージに応じた支援～	①この地域で子育てをしていきたい人の割合
		②ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合
【施策2】まち全体で子どもを育てる	■まち全体での子育て応援 ■子どもたちの状況や社会のニーズに応じた教育の推進	①コミュニティ・スクールの導入校数
		②ＩＣＴを活用した授業を実施している教師の割合
		③外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと思う児童・生徒の割合
		④朝食を毎日食べる児童・生徒の割合
		⑤自分の良さは周りから認められていると回答した児童・生徒の割合

◆基本目標４　「そこ！が好き」はつかいち ～はつかいちの心を育む～

ＫＧＩ① まちに愛着があると答える市民の割合

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策1】はつかいち大好きっ子！を育てる	■ふるさとに愛着や誇りを持つ子を育てる	自分の住んでいる地域のことが好きな児童・生徒の割合
【施策2】安心して暮らせるまちをつくる	■安心して暮らせるまちをつくる	①災害による死亡者数
		②市内の犯罪認知件数（廿日市署管内）
		③適切に医療機関を利用できると思う市民の割合
【施策3】住み続けたい！をかなえる	■持続可能な地域づくり	①都市拠点（市役所周辺）で必要な誘導施設の充足率
		②支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合
		③公共交通で安全、快適、円滑に目的地まで移動できると思う市民の割合
		④地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合
		⑤福祉・介護に関するサービスが適正に提供されていると思う市民の割合
		⑥市民センターが利用しやすいと思う市民の割合
		⑦日頃から文化芸術活動（音楽、演劇、舞踏、美術、伝統芸能、文学など）に親しむ人の割合

第３期総合戦略

◆基本目標２　未来への挑戦で、地域経済の魅力・活力を創出する

ＫＧＩ　市内事業者の景気動向を示す景況DI が県内平均を上回っている割合

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策2-1】 まちの産業の経営基盤強化と新たな産業の創出	（1）市内事業者の経営基盤強化	生産性向上に取り組んでいる企業の割合
	（2）新たな産業の創出	創業支援事業計画に関する相談を支援した対象者のうち、創業が実現した者の数
		新設法人数の累計件数（５年間）
【施策2-2】 農林水産業の振興	（1）農産物の販売促進と地産地消の推進	市内の農林水産物を意識して購入している市民の割合
	（2）農業の生産性向上と担い手の確保	産直市への出荷者数
		認定新規就農者数
	（3）林業従事者の担い手確保と森林整備の促進	森林整備面積
	（4）漁業の生産力向上	漁業生産額
【施策2-3】 地域の観光資源の魅力を活かした経済循環の拡大	（1）観光客の来訪・滞在と観光消費の拡大の促進	総観光客数
		観光消費額
	（2）観光客の受入体制の整備	観光客満足度の平均値（10 段階評価）
	（3）地域も満足できる観光の実現	観光客の増加や観光に関する取組により、「地域経済が活性化し、にぎわいが生まれている」や「地域への愛着や誇りが高まっている」と感じている市民の割合

◆基本目標３　人と人、人とまち、まちとまちのつながりを深め、新たな人の流れを創出する

ＫＧＩ　人口の社会動態

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策3-1】 移住・交流・関係人口の拡大によるまちのファンづくり	（1） 市民の定住意識の醸成	市に自分のまちとしての愛着がある市民の割合
	（2）交流・関係人口の創出	ふるさと住民登録制度における関係人口
	（3）空き家活用の促進	中山間地域の空き家バンク制度利用による成約件数（年）
	（4）多様で良質な住まいの支援・整備	今の住宅での生活に満足している市民の割合
	（5）国際交流の推進	国際交流活動をしている市民の割合
【施策3-2】 選ばれるまちづくりの推進	（1）男女共同参画の実現に向けた意識醸成と相談体制・支援の充実	性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できている市民の割合
		多様性を尊重した経営を実践していると回答した企業の割合
	（2）誰もが安心して働くことができる環境の整備	自分が希望する働き方を実現できている市民の割合
	（3）若者が希望を持って将来を描くための支援	自分の将来について明るい希望を持っている市民 （18 歳～29 歳）の割合
		若者の地元企業の認知・関心度

基本目標１を継承しつつ、
観光資源や取り組みが地域経済や市民にポジティブな波及効果が生じているかの視点を追加

基本目標２、４を継承しつつ、
第2期の「移住・定住」の施策に加え、
「交流」や「関係人口」の"つながり"の創出、
「多様な選択や生活」等の視点による、選ばれるまちづくりのための施策が位置づけられた。

第２期総合戦略

◆基本目標１　はつかいちの「産業」はニュースにあふれている！！！～そこ！に着目するはつかいち～

ＫＧＩ① 市内総生産額

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策1】 コレできる！新しい仕事のカタチ発掘	■仕事のカタチ発掘	創業支援等事業計画を活用した市内創業者数
【施策3】 新たな「人・モノ・コト」を開拓する	■市内企業の留置と市外企業の誘致	法人市民税の申告件数
【施策2】 お宝ザクザクはつかいち	■地域に密着した商いを応援する	①ＪＡ産直市場の売り上げ高
		②認定農業者数・認定新規農業者数
		③認定農業者の内スマート農業に取り組む者
		④漁業生産額
	■魅力的な観光資源の活用	⑤観光消費額
		⑥観光客一人当たりの消費額（観光消費額／観光客数）
	■持続可能な経営の推進 ■産業連関の強化	⑦事業継続強化計画の認定を受けた市内事業者数（累計）
		⑧産業経済団体、産業支援機関等を活用したビジネスマッチングへの参加事業者数
		⑪産業支援機関等を活用した事業承継成立件数
		⑫産業支援機関等が開催するビジネスフェアへの参加企業数
	■地域資源の活用	⑨地元の食材を提供するホテル旅館及び飲食店数
		⑩市内の農水産物を購入している市民の割合

◆基本目標２　住みたくなる！ちょうどいいまち ～そこ！そこ！！のはつかいち～ 意外と知らない、魅力いっぱいのまち

ＫＧＩ①人口の社会動態

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策1】ウェルカムはつかいち ～暮らしを楽しむ魅力いっぱいのまち～	■多様な地域の魅力を発信する	①市の取組を知り、廿日市市に暮らすことに興味・関心がわいた２０歳代～４０歳代の割合
		②２０歳代～４０歳代の転入者数
【施策2】はつかいち再発見	■地域の人と資源を知る	現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合

◆（再掲）基本目標４　「そこ！が好き」はつかいち　～はつかいちの心を育む～

ＫＧＩ① まちに愛着があると答える市民の割合

施策	小施策	ＫＰＩ
【施策1】 はつかいち大好きっ子！を育てる	■ふるさとに愛着や誇りを持つ子を育てる	自分の住んでいる地域のことが好きな児童・生徒の割合
【施策2】 安心して暮らせるまちをつくる	■安心して暮らせるまちをつくる	①災害による死亡者数
		②市内の犯罪認知件数（廿日市署管内）
		③適切に医療機関を利用できると思う市民の割合
【施策3】 住み続けたい！をかなえる	■持続可能な地域づくり	①都市拠点（市役所周辺）で必要な誘導施設の充足率
		②支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合
		③公共交通で安全、快適、円滑に目的地まで移動できると思う市民の割合
		④地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合
		⑤福祉・介護に関するサービスが適正に提供されていると思う市民の割合
		⑥市民センターが利用しやすいと思う市民の割合
		⑦日頃から文化芸術活動（音楽、演劇、舞踏、美術、伝統芸能、文学など）に親しむ人の割合